

石材土石も増加

廿六萬餘圓に達す

昭和十三年に於ける本縣石材土石總產出價額は百五十三萬二千九百三十圓で、之を前年總產出價格に比すれば二十六萬四千三百八十一圓乃ち一割七分二厘の増加を示した。種類別產出額並に前年との對比は左の通りである。

種別	昭和十二年	昭和十三年	増減(△印ハ減)
花崗岩	六三、三三	九一、三五	二八、〇二
砂	一、三三	二、七九	一、四六

安山岩	五〇	四〇	一〇
凝灰岩及灰岩	八七〇	八、九三	八、〇六
砂岩	八〇	一、九	一、九
大理石	一八、三三	七、三三	一、〇〇
砂利	三、四、九〇	三、五、〇〇	一〇、一〇
陶石及陶土	四、〇〇	五、〇〇	一、〇〇
粘土	三、七九	三、八六	七
石灰岩	七、八三	一、〇、六九	二、八六
計	一、三六、〇七	一、五三、九三	一七、八六



牛乳や肉類の需要は著しく増加を示す

搾乳屠殺の統計が物語る

縣統計課の調査したところによれば昭和十三年に於ける縣下の搾乳場は百三十四ヶ所で乳牛頭数は九百七十九頭であり搾乳量は一萬一千五百九十五石に上り金額にして五十九萬二

千四百十五圓である。之を前年の搾乳高に比較すると一千二百五十六石即ち一割二分一厘を増加した譯であるが、更に屠殺の肉量を見れば七十四萬二千七百三十六貫、價額二百十一

萬七千八百六十六圓で、前年に比すれば數量に於て三萬七千六百五十四貫(五分三厘)、價額は四十萬二千五百五十三圓(二割三分五厘)の増加を示した。之は取もなほさず縣下の牛乳

や肉類の需要が著しく増して行く傾向を物語るものであるが屠殺したものゝ種類別を見れば左の通りである。(單位は頭貫、圓)

種別	頭數		肉量		價額計
	牝	計	數量	價額	
成牛	六〇	一、四九	三、六八	二〇、三三	二〇、三三
犏	三	元	一、二	三、〇	七、五
馬	三〇	四、六	一〇、三	三、四〇	五、五六
豚	六、三九	七、〇七	三、五九	八、〇四	一、八〇、七六
細羊	一	二	一	三	三
山羊	五	七	三	一、五	四、〇
計	一〇、四四	二六、四七	四〇、三三	六六、〇〇	二、二七、八六

増産を示した

園藝農産物

作付反別も増す

縣下の昭和十三年に於ける園藝農産物蔬菜及花卉の三(生大根、切干大根、カブラ、ニンジン、ゴボウ、サトイモ、レ

種別	作付反別	收穫高		價額
		數量	價額	
生大根	二、四〇〇	二、七、七三	一、〇八、〇〇	二、〇、〇〇
切干大根	一	一、五〇	八、六一	一、〇、〇〇
カブラ	七、五	一〇〇、四三	三、五、〇〇	二、五、〇〇
ニンジン	四六、八	一、三、四、八七	二、九、〇九	二、九、〇九
ゴボウ	八六、五	二、七六、三四	六、七、七三	六、七、七三

ツケナ 二、三二四・三
サトイモ 二、四〇四・一
レンコン 六、六・三
ネギ 七、四〇・二
タマネギ 七、四一・七
キャベジ 二、一六・六

一、三三、六〇一
一、二九、八五五
四、〇〇五
四、九、八〇六
五、一五、一五五

ラクカセイ 三三六
計 九、三二八
で前年に比すれば作付反別に於て百十二町一反(零割二分二厘) 價額に於て三十三萬九千六百八十五圓(零割六分七厘)を 何れも増加した。

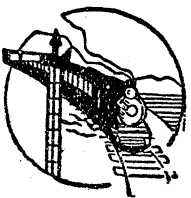
四〇

統計主任者異動

(上は新任括弧内は舊)

昭和十四年四月十四日 那珂郡野口村 昭和十四年四月十四日 那珂郡野口村
森戸 正雄 (皆川善次平)
全 四月十六日 西茨城郡穴戸町
友部 勝雄 (嵐 一郎)
全 四月十七日 多賀郡多賀町
長山 惠 國分、河原子、鮎川併合
大川 要市 ニヨリ新任
海野 秀
全 一月二十一日 那珂郡檜澤村
長岡 哲也 (小室 榮)

全 一月三十日 東茨城郡小松村 全 二月二十八日 行方郡立花村
綿引 謹青 (岡部 保彦) 貝塚 喜一 (羽生 宗雄)
全 全日 蓮田 捨藏 東茨城郡澤山村 全 二月二十四日 北相馬郡安谷町
全 一月三十日 高倉 重義 (小林 克) 飯塚 丑松 (下村光三郎)
全 四月十一日 磯崎 健造 那珂郡平磯町 全 三月二十八日 久慈郡坂本村
全 四月一日 塚本 武雄 行方郡立花村 全 二月二十一日 久慈郡天下野村
全 二月十五日 小川 得雄 筑波郡谷原村 全 三月五日 新治郡田余村
(川口 増次) 橋本誠之助 (田口 正作)



各地統計雑信

久治、(豊郷)錦織要藏、(豊津)野口雄亮、
(鹿島)根本關之助、(高松)木瀧徳三郎、
(息酒)大塚廣一、(輕野)保立松太郎、(若松)菅野藤助、(波崎)石川武治

各郡支部總會

表彰傳達式も舉行

昭和十四年度本縣統計協會支部總會は四月一日開催の鹿島郡支部を皮切に五月二日の筑波郡を殿として各支部共盛會裡に終了したが、本部から大月副會長及び支部擔任委員が臨席、去る二月十一日紀元の佳節に統計功勞者として表彰せられた統計主任及び全調査員三十二氏に對する表彰狀の傳達式を舉行した後縣提出の研究事項に就き種々討議を重ね總會をして意義あらしめた

各郡支部の總會概況は大休次の通りであつた。

鹿島郡支部

四月一日波崎町役場に開催、當日の出席者左の通り
(夏海)田口豊之介、(大谷)豊田保行、(巴)重藤正、(諏訪)酒井守衛、(銚田)竹内慶治
(上島)中根忠、(白鳥)菅谷保一、(大同)須賀田彦二、(中野)小澤正平、(波野)大川佐

東茨城郡支部

四月十三日東茨城郡町村長會支部樓上に開催、當日の出席者左の如し。
横須賀助役(上大野村)、平戸書記(下大野村)、飯島書記(稻荷村)、飛田書記(大場村)、清水書記(酒門村)、飛田書記(石崎村)、皆川書記(吉田村)、町井書記(線岡村)、石川助役(河和田村)、寺山書記(長岡村)、栗原書記(上野合村)、郡司書記(白河村)、菅井書記(小川町)、大貫書記(竹原村) 加納書記(堅倉村)、大島書記(鯉淵村)、木村書記(中妻村)、鈴木書記(渡里村)、安島書記(飯倉村)、菌部書記(山根村)、大越書記(石塚町)、綿引書記(小松村)、鯉淵書記(西郷村)、宇野書記(岩船村)、蓮田書記(澤山村)、河上書記(磯濱町)、佐藤書記(大貫町)、支部常務幹事江橋長次郎